

監督補助業務委託 現場説明書

- 1 件名 令和 8 年度汚水管理設工事（夜間）監督補助業務委託
- 2 場所 岡山市北区門前地内ほか
- 3 期間 令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日まで
- 4 監督補助業務にあたっては、第三者災害の防止、作業員の安全管理を徹底させ、仕様書及び関連法規に基づき施工監理を行うこと。
- 5 本業務は、監督員の補助を目的としているため、閉庁日に現場作業が行われる場合は現場管理を行い業務日誌にて後日報告すること。
- 6 監督補助業務にあたっては、本現場説明書及び別冊の仕様書（下水道工事監督補助業務委託仕様書（以下「仕様書」という）、下水道工事監督補助業務委託特記仕様書）により行い、監督員と緊密な協議を行うこと。
- 7 監督補助計画書を提出のこと。
 - （1）仕様書第 7 項の主任技術者及び現場責任者を定め、通知すること。
 - （2）監督補助業務従事者（主任技術者及び現場責任者を含む）の経歴書を提出すること。
- 8 受注者は、測量調査設計業務実績情報システム（TECRIS）に基づき、登録すること。
- 9 市議会で本業務に係る令和 8 年度当初予算の議決が得られないとき、又は、その予算の執行の承認が得られないときは、落札決定を行わず、入札を中止する。
- 10 最低制限価格について
最低制限価格の算出にあたっては、「岡山市建設コンサルタント業務等最低制限価格の設定に関する要綱」によるものとし、本業務については、業種区分「土木関係建設コンサルタント業務」で算出している。
- 11 数値の扱いについては、別紙 1 「（夜間）監督補助業務委託における数値の扱いについて」のとおりとする。

(夜間) 監督補助業務委託における数値の扱いについて

1 設計単価等の扱い

設計に使用する単価は、消費税相当分は含まない。

夜間割増を含む技術者基準日額（総額）は、次式による。（1円未満切捨て）

$$\begin{aligned} \text{技術者基準日額（総額）} &= \text{所定内労働に対する技術者基準日額} + \text{割増賃金} \\ &= \text{技術者基準日額} + \text{技術者基準日額} \times \text{割増対象賃金比（0.55）} \\ &\quad \times 1/8 \times \text{割増係数（0.25）} \times \text{割増すべき時間数（6時間）} \end{aligned}$$

2 端数処理等の方法

(1) 金額

各構成要素の金額（設計数量×単価）は1円単位（1円未満切捨て）とする。

(2) 単価表の合計金額

原則として、端数処理は行わない。

(3) 内訳書の合計金額

原則として、端数処理は行わない。

(4) 経費を算出する際の係数

経費を算出する際の係数（ $\alpha / (1 - \alpha)$ など）の端数は、パーセント表示の小数第2位（小数第3位を四捨五入）とする。

(5) 業務価格

業務価格は、10,000円単位とする。10,000円単位での調整は、一般管理費等で行う。

(6) 変更後業務委託料の算出について

業務委託料に変更があった場合の変更後業務委託料の算出は、次の式による。

変更後業務委託料

$$= (\text{変更後設計金額（税抜）} \times \frac{\text{当初業務委託料（税込）}}{\text{当初設計金額（税込）}}) \times (1 + \text{消費税率})$$

上記の算定式で、括弧内の計算の結果、10,000円未満の端数を生じたときは、これを切り捨てる。